

「 Unit5 Living with Robots - For or Against 」

～ 初耳学！ 情報提供者になろう ～

本単元で育成する資質・能力

(教科) (学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日時 平成30年11月16日 13:30～14:20 / 14:35～15:25
- 2 学年 第3学年2組 (男子16名 女子21名 合計37名)
第3学年1組 (男子16名 女子21名 合計37名)
- 3 場所 本館2F 英語教室
- 4 単元について

○ 本単元は、私たちの生活の中に入ってきている様々なロボットたちの活躍を知り、「ロボットとの暮らし」をテーマにした議論を扱っている。言語材料では名詞を詳しく説明する現在分詞・過去分詞の後置修飾と間接疑問文を扱っており、対話や議論を読んで話しての主張や理由を理解し自分の考えを述べることができる単元である。この言語材料を用いることで、意見や理由を伝える表現の幅を広げることができる。また他の人が知っていない情報を伝える表現として、間接疑問文が適していると考えられる。

○ 本学年の生徒は、「英語学習についての事前アンケート」で次のように答えている。

	肯定的回答
英語の勉強は好きです。	64%
ペアやグループなどでの活動を行うことが好きです。	83%
ALT の話を聞いたり、ALT と話したりすることが好きです。	79%
英語の授業では自分の考えや気持ちなどを英語で話しています。	67%
英語は必要だと思いますか。	91%

英語の授業で苦手な活動は何ですか。	話す	聞く	書く	読む
	59%	43%	60%	34%

3年生になっても授業では、音読練習において意欲的に声を出しており、発問に対しても積極的に挙手をして発言するなど、前向きに学習に取り組んでいる。またインタビュー活動においても意欲的に活動できている。しかし、語彙力や読解力など生徒間の学力差は大きいなど課題はある。

多くの生徒において、「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」や「つなぎ言葉を用いることなどいろいろな工夫をして話を続けること」については、短文または単語で伝えようとするのはできるが、理由を含めて伝えることなど具体的な内容を伝えるのは難しい。

○ 実践的な会話能力を育成する観点から、ペア活動やグループ活動を積極的に取り入れ、自分の思いを表現させる場を多くもつことに重点を置いている。本単元の指導に当たっても、ペア活動やグループ活動を十分生かし、これまで経験したことやすでに学習をし終えていることについて述べたり、理由をそえて気持ちを述べる表現方法を理解させたり、様々な状況に応じて対応できる力をつけたい。

指導に当たっては、既習事項を用いた様々な表現を用いて「初耳情報」をわかりやすく説明する活

動を実施する。個とペア，そして小グループで活動を行い，相互に協力し合いながら，よりよいものにしていく過程を重視し，評価する。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力，コミュニケーション能力，主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには，各教科，領域等の授業における「展開場面」において，生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に，生徒が主体的に活動するためには，「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え，研究を重ねている。

本題材においても，「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し，学習班で考えを何度も練り直させ，思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3
知識・スキル	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）			
	表現力・コミュニケーション能力	（話す） 自分の考えや意見を，自分のことばで，表現することができる。	わかりやすく（伝える） 自分の考えや意見を，わかりやすくまとめ，自分のことばで，表現することができる。	（説得する） 自分の考えや意見を，わかりやすくまとめ，目的や場に応じて，適切な方法で，表現することができる。
		（聞く） 相づちを打ちながら，途中で口をはさまず，聞いている。	（聴く） 話の組み立て構造を考えながら，相手の意図や要点を整理しながら，聴くことができる。	（訊く） 相手の考えについて根拠の信頼性を判断しながら，訊くことができる。話された内容と自分の意見をふまえて疑問点を明確にし，相手にたずねることができる。
聞いて質問することができる。 （やりとり1回）		さらに深めた質問ができる。 （やりとり2回）	質問の後に自分の意見を述べ，内容を深めることができる。 （やりとり3回以上）	
意欲・態度	主体性	課題に対して，自分の考えを持ち，取り組もうとしている。	課題に対して，自分の考えを持ち，自ら進んで，取り組もうとしている。	自ら課題を見つけ，自分の考えを持ち，よりよい方法を選択し，自ら進んで，取り組もうとしている。

6 単元目標

- 人や物について情報を加えて説明することができる。
- 疑問詞を使って自分が何かを知っているなどと述べるすることができる。
- 相手の意見を受けて自分の考えを述べながら議論をすることができる。

7 評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
①自分の知っているジェスチャーや表現を利用して積極的に伝えようとしている。	①相手の意見を受けて自分の考えとその理由を分かりやすく工夫して述べることができる。 ②自分の主張とその理由となる文を書くことができる。	①説明や意見を聞いたり読んだりして、賛否や主張の要点、理由などを理解することができる。	①名詞を後から修飾する現在分詞や過去分詞、間接疑問文の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。

8 指導計画（全13時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点				評 価	
			関	表	理	知	評価規準	資質・能力（評価方法）
単元を貫く問い プロローグ（単元を貫く問い） 詳しい説明ができる								
課題の設定・情報収集	1	<ul style="list-style-type: none"> 後置修飾の理解（1時間） 本文理解（1時間） 				○	知①名詞を後から修飾する現在分詞や過去分詞、の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。 理①説明や意見を聞いたり読んだりして、賛否や主張の要点、理由などを理解することができる。	【表現力】（テスト）
	2	<ul style="list-style-type: none"> 間接疑問文の理解（1時間） 本文理解（1時間） 				○	知①間接疑問文の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。 理①説明や意見を聞いたり読んだりして、賛否や主張の要点、理由などを理解することができる。	【表現力】（テスト）
情報収集	3	<ul style="list-style-type: none"> 本文理解（3時間） 				○	理①説明や意見を聞いたり読んだりして、賛否や主張の要点、理由などを理解することができる。	【表現力】（テスト）

まとめ ・ 創造 ・ 表現	4	・議論をしよう (3時間) <u>思考を深める学び 合い</u>	○	○	○	関①自分の知っているジェスチャーや表現を利用して積極的に伝えようとしている。 表①相手の意見を受けて自分の考えとその理由を述べることができる。 理①議論を聞いたり読んだりして、賛否や主張の要点、理由などを理解することができる。	【コミュニケーション能力】(観察) 【表現力】(観察)
まとめ ・ 創造 ・ 表現	5	・知っていることを自慢しよう。 【3/3 本時】		○	○	表①自分の考えとその理由をわかりやすく工夫して述べることができる。 ②自分の主張とその理由となる文を書くことができる。 理①主張の要点、理由などを理解することができる。	【主体性】(観察) 【コミュニケーション能力】(観察) 【表現力】(観察・ワークシート)
エピソード (単元を貫く問いの解決) 例 I think we should use electric dictionaries because they' re easier to carry.							

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○各グループが紹介したい事を詳しく説明できる。

(2) 本時の評価規準

・自分の考えとその理由をわかりやすく工夫して述べることができる。(表①)


(3) 準備物

・写真 ・ 振返りシート

(4) 学習の流れ (3時間目/全3時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準 [観点] ★資質・能力 (評価方法)
1 既習事項の確認。[2分]		
○あいさつ ○前時の確認	◇後置修飾や間接疑問文を用いて説明文を考えたことを思い出させる。	
2 本時の課題を設定する。[1分]		
学習課題 : 「 初耳学! ~情報提供者になろう~ 」 ~ 初耳学に認定されよう ~		

導入の工夫

3 ねらいを確認する。[5分]		
ねらい ・各グループが紹介したい事を詳しく説明できる。		
○ポイントの確認	<input type="checkbox"/> 声の強弱・リズム・トーン・間 <input type="checkbox"/> 表情	
4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[7分]		
○発表練習（グループ）	◇伝えたい内容が伝わるような表現の工夫をさせる。 ◆発音の確認をし、自信をもって発表できるようにする。	・自分の考えとその理由を述べることができる。 [表①] ★表現力（ワークシート）
5 課題解決について発表をする。[30分]		
○発表と評価 (グループで全体発表)	◇相手を意識した発表にさせる。 ◆原稿を読まないように発表させる。 ◆好き嫌いではなく内容で判断させる。	・主張の要点、理由などを理解することができる。[理①] ★表現力（観察）
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>Do you know how tall the Doraemon is? He is 129.3cm. Have you ever heard about him? Do you know his 3 size? His chest, waist and hip are also 129.3cm. Do you know how much his weight is? His weight is also 129.3kg. He can run 129.3km/h. But he can run fast when the mouse follow him.</p> </div> </div>		
Who has never heard about this topic? If you have never heard, please raise your "Hatsumimi card". More than 20 → "Hatsumimi" Less than 19 → " Not Hatsumimi" ◇初耳ポイントをメモしておく		
6 学習のまとめをする。[1分]		
○本日の No. 1 を決める		

少人数グループの活用

7 本時を振り返り, 次時につなげる。[4分]		
○振り返り	◇ねらいに対しての振り返りをさせる。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>生徒の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明することができた。 ・関節疑問文などを使って説明ができた。 ・○班の発表が分かりやすかった。 ・声のトーンだけでなく表情の工夫もできた。 ・知らないことがあった。 </div>		
○あいさつ		

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	声のトーンを変えるなど工夫したアピールができた。／「学習の流れ」に記載している具体的な文を書くことができた。
B（合格）	具体的な紹介文を覚えて発表できた。／後置修飾・間接疑問文などの3年生での既習事項を使って書くことができた。
C（乗り越えさせたい実態）	原稿を読んで発表してしまった。／詳しい説明文が書けなかった。

(5) 板書計画

<p>Today's Goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>各グループが紹介したい事を詳しく説明できる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>Task 「 初耳学！ ～情報提供者になろう～ 」 ～ 初耳学に認定されよう ～</p> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 10px;"> <p style="margin-top: 5px;">写真</p> </div>
--	--